

成功者の心得^①

世界最強！華僑のお金術

大物華僑直伝の「華僑のお金術」を紹介する後編。昨日の前編では貧乏から突然お金持ちになる

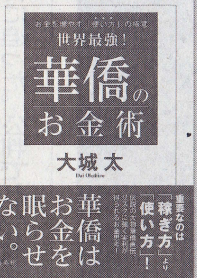
華僑の成功秘話を紹介しました。後編は、華僑が貧乏な時期にこそケチらず使うお金の話をしたいと思います。

お金持ちになるために節約を徹底する華僑が、あえて大枚をはたいて買うものとは？ それは「体験」です。例えば5つ星のハイクラスホテルや一度でウン万円の高級レストランなど、お金持ちが集う場所でお金持ちの世界を体験し、その場にふさわしくなるよう練習するのです。

また、華僑はお金持ちになるまで車を持たないのが一般的ですが、中には余裕などないのにヨーロッパの高級外車に乗って

いる人もいます。これもお金持ちの世界を体験するため。高級外車といっても買えるのは中古車です。数カ月で手放すケースも多いのですが、それでも身をもって体験することに価値があると彼らは言います。

私が体験の価値を知ったのは、学生時代から憧れていたベンツをついに手に入れた時です。ハンド面の違いは試乗である程度は分かりますが、重厚なドアがもたらす安心感や長時間運転しても疲れないシートや座り心地、さらに風の音や景色の見え方まで違うというのは、日常的に乗っている人にしかわからない、ということがわかったのです。



お金持ちの世界を体験する

SNSの普及でさまざまな人の体験が共有されるようになった今、お金持ちの世界を垣間見て、わかったような気になっていることも多いと思います。旅行なども同様です。世界を旅する人の投稿を見て知った気になり、わざわざ行かなくてもいいと思ってしまう。SNS世代が低欲望化するものも納得ですが、実際には現地に赴き身をもって体験しなければ何も得られません。

「が非常に高く、華僑もいろいろなSNSを器用に使いこなしています。しかしSNSにしてもスマホにしても華僑は便利なツールとして使うのみ。そこにいくら情報があふれかえっていても、リアルな経験・体験が不要だとは考えません。

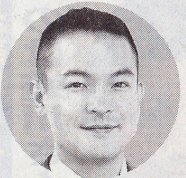
日本人にも「お金持ちになりたければお金持ちの世界を体験するべきだ」という発想はありますよね。ただ、多

くの人が残念な過ちをおかしていることにお気づきでしょうか？

過ちとは、贅沢な体験を「自分へのご褒美」にしてしまうことです。「ご褒美」だと思っているかぎり、贅沢な体験が日常になることはありません。ご褒美＝分不相応なのですから。

お金持ちの世界にふさわしくなる体験をして練習しなければお金持ちには近づきません。ご褒美はバツと心得ましょう。

(大城太)



中国人はITリテラシ

ありです

ある

おおしろ・だい アジアでビジネスを展開する6社の代表。脱サラ・起業するにあたり大物華僑に師事。日本人で唯一の弟子として門外不出の成功術を直伝される。独立後、社長1人アルバイト1人で初年度年商1億円を達成、若き華僑・宋とともに医療機器メーカーを設立。著書に『世界最強！華僑のお金術』（集英社）、「失敗のしようがない華僑の起業ノート」「一生お金に困らない「華僑」の思考法則」（ともに日本実業出版社）がある。